

千葉演習林沿革史資料 (5)
—千葉演習林第1次経営計画
「千葉縣下演習林經營方案」(付属簿表及び図面)—

泉 桂子*・鈴木 誠**

Chronological Notes of Tokyo University Forest in Chiba (5)
—The First Forest Management Plan in 1905 (Tables and Figures) —

Keiko IZUMI*, Makoto SUZUKI**

筆者らは先に「千葉演習林沿革史資料 (4)」として千葉演習林第1次経営計画である『千葉縣下演習林經營方案』の本文を公開した(泉ら, 2000)。本論はその続編として当該経営計画の付属簿表及び図面を公開するものである。本資料の意義は既に前報で明らかにしたとおりである。続編の公開によって更に1905(明治38)年当時の千葉演習林の林相を明らかにし、千葉演習林に関わる調査・研究を行う方々に参考データを提供するものである。

なお表記に当たってのルールは(泉ら, 2000)のそれに同じである。元資料に頁はないが、利用の便を図るため付属簿表には頁番号を付した。印刷の都合上2～3頁を1頁に収めている場合もある。

資料の要約

筆者らは主に森林経営の沿革への興味から本資料を発掘・閲覧した。ここで本資料から明らかとなる100年前の千葉演習林の姿を概観する。

* 日本学術振興会特別研究員, 独立行政法人森林総合研究所東北支所
JSPS Research Fellow, Tohoku Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute.

** 国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林
University Forest in Chiba, University Forest, Graduate School of Agricultural and Life Sciences,
The University of Tokyo.

1. 面積及び林小班区画

1905(明治38)年当時の演習林成立背景の違いから「千葉縣下演習林」は清澄施業区、奥山施業区に二分されて記述されている。面積は2,128haである(現在の面積2,171ha)。また、林班数52, 小班数は308である(表-1)。現在の林班数47, 小班数716に比べ、大まかであることが分かる。

表-1 千葉演習林における林小班数(1905年)

単位: 班, ha

	面積	林班数	一林班あたり面積	小班数	一小班あたり面積
清澄施業区	336.55	14	24.04	129	2.61
奥山施業区	1791.55	38	47.15	179	10.01
全 体	2128.10	52	40.92	308	6.91

注1: 除地を含む。

注2: haに換算しているため、資料編2頁, 22頁の面積総括表(町歩表記)と見かけの数字は一致しない。

2. 森林の姿

森林簿から当時の森林の林況をまとめると表-2の通りである。下木: カシ・シイ等, 上木: モミ・ツガ等からなる天然生林(以下針広混交林とする)1,064.22ha(50%), カシおよびナラ等の広葉樹林525.43ha(25%), スギ・ヒノキ・マツ等の人工林362.08ha(17%), 除地(苗圃, 官舎等)15.95ha(1%), 伐採跡地等151.04ha(7%)であった。明治38(1905)年当時の状況を1909(明治42)年のそれと比べてみる。白石ら(2004)は1909(明治42)年当時の千葉演習林の林相をGISなどを用いて推定し, 中林(上記の針広混交林), 低林(上記の広葉樹林), 高林(上記の人工林), 伐採跡地がそれぞれ811.8ha, 699.5ha, 595.7ha, 105.7ha程度であったとしている。これと比較すると当時針広混交林が広葉樹林あるいは人工林に変化しつつあったことが窺える。また1997(平成9)年における千葉演習林の林相は針広混交林386.73ha, 広葉樹林948.67ha, 人工林824.24haである(東大農学部附属千葉演習林, 1997)。この間に引き続き針広混交林が広葉樹林あるいは人工林となっていったことが見て取れる。

林齢を見ると広葉樹林ではI齢級(1齢級は20年)が66%を占め, 林木が薪炭として盛んに利用されていたことを窺わせる。針広混交林ではI齢級, II齢級, III齢級がそれぞれ4分の1, 2分の1, 4分の1である(齢級は下木が伐採されてからの年数をいう)。人工林の82%は1齢級(高木の1齢級のみ10年)であり, 人工林のほとんどは植栽されて間もない時期であった。

表-2 千葉演習林の林相と齢級 (1905年)

単位: ha

施業区	林相	樹種	齢級					小計	割合*
			I	II	III	IV	V以上		
清澄	針広混交林		5.80	45.06	22.02			72.88	
	広葉樹林	カシ		10.34				11.80	
		ナラ	45.43	0.00				45.43	
	人工林	スギ・ヒノキ	112.44	14.80	4.92	20.72	10.30	163.18	
		マツ	3.83					3.83	
	除地 伐採中							10.73 27.29	
奥山	針広混交林		265.21	486.27	239.85			991.33	
	広葉樹林	カシ	289.40	165.83				455.23	
		ナラ	7.80	6.62				14.43	
	人工林	スギ・ヒノキ	180.70	2.50	6.11			189.30	
		マツ		5.77				5.77	
	除地 伐採中							5.22 123.75	
計	針広混交林		271.01	531.33	261.87			1,064.22	50.23%
		(割合)*	25.47%	49.93%	24.61%				
	広葉樹林	カシ	289.40	176.17				465.57	
		ナラ	53.24	6.62				59.86	
		小計	342.64	182.80				525.43	24.80%
		(割合)*	65.21%	34.79%					
	人工林	スギ・ヒノキ	293.14	17.30	11.03	20.72	10.30	352.48	
		マツ	3.83	5.77				9.60	
	小計	小計	296.97	23.07	11.03	20.72	10.30	362.08	17.09%
		(割合)*	82.02%	6.37%	3.05%	5.72%	2.85%		
除地 伐採中							15.95 151.04	0.75% 7.13%	
合計							2,118.72	100.00%	

注1: 針広混交林・広葉樹林の齢級は1齢級20年。人工林は1齢級10年。針広混交林の齢級は下木の伐採からの年数を指す。

注2: 齢級の行の割合はそれぞれの齢級が全体に占める割合。計の列の割合はそれぞれの林相が合計面積に占める割合。

注3: 泉が森林簿の各小班を足し合わせた値で、表-1の合計値と一致しない項目がある。

3. 伐採及び造林予定

奥山施業区では整理期を50年とし、これをI(5年)、II(10年)、III(10年)、IV(25年)期に区分した(清澄施業区では第IV期5年、第V期20年に細分している)。既に前報で明らかにしたように将来は皆伐高林施業を行うことを予定しており、現在の低林・中林を伐採し、その面積の半分にスギ・ヒノキを造林して、残りの林分はもう一回低林または中林作業を継続するものであった(表-3)。

表-3 千葉演習林における伐採及び造林予定 (1905年)

単位：ha, m³ (用材), ラウムメートル (薪材)

施業区 整理期 年数	清澄施業区					奥山施業区				
	I (5)	II (10)	III (10)	IV (5)	V (20)	I (5)	II (10)	III (10)	IV (25)	
整理地面積	27.57	51.67	54.91	32.62	74.73	287.88	645.27	597.41	575.38	
造林地面積	39.46	19.05	53.93	32.62	74.73	243.22	387.95	380.01	573.13	
年当たり整理面積	5.51	5.17	5.49	6.52	3.74	57.58	64.53	59.74	23.02	
年当たり造林	7.89	1.91	5.39	6.52	3.74	48.64	38.79	38.00	22.93	
年当たり伐採材積	用材	910.39	-	-	-	-	2,334.50	-	-	-
	薪炭材	383.90	-	-	-	-	6,696.18	-	-	-

注1：1尺メ=14立方尺=0.3822m³で換算した。注2：ラウムメートルは薪炭材など安価な材の計量に用いられる単位で、薪材を1m³に積み上げた場合の層積をいう。

4. 近年の収支

1898～1904 (明治31～37) 年度の演習林収支を見ると千葉演習林, 北海道演習林, 台湾演習林, 府中及び代々木演習林の経営によって生じた純収入は大学資金に編入されていた。その額は3～821円であった。また支出項目において造林費が「実験費」の項目に分類されている。この時代の演習林における造林は実験的なものであったことをうかがわせる。また「新営費」は1903(明治36)年度以降「修繕費」となる。このころまでに演習林の基盤整備がほぼ終了したことが窺える。

5. 図面

「千葉縣下演習林経営方案」の目次によれば「清澄施業區林相圖」「奥山施業區林相圖」「三角網圖」の3葉が添付されている。筆者らの調査により発掘できた同年代の図面類 (千葉演習林天津事務所所蔵) は表-4の通りである。今回の調査では「経営方案」添付の図面を特定するには至らなかった。参考のため2, 4, 8, 9を写真で示した。

表-4 千葉演習林における明治後期の図面類

No	名前	年	月	面積	縮尺	備考
1	千葉県安房国長狭郡清澄官林林相図	1984	5	265町5反	1/5000	(創設前) 農科大学林学科乙科3年生15名連名
2	千葉県下演習林基本図	1902	8			-
3	千葉県安房国長狭郡清澄演習林基本図	1987	6	316町4反	1/5000	-
4	千葉県奥山演習林林相図	1903	5			-
5	千葉県下農科大学演習林西部基本図	1908	5	826町2反	1/5000	-
6	千葉県奥山演習林 地質断面図	1909	5		1/10000	-
7	千葉県奥山演習林 地形図	190?	1		1/10000	-
8	ザクセン式林相図	1905	8		1/10000	-
9	ゲンニマターズ式式林相図	1905	8		1/10000	-

注：鈴木の調査による。いずれも千葉演習林天津事務所保管。



写真-1 千葉県安房国長狹郡清澄演習林基本図



写真-2 千葉県奥山演習林相図



写真-3 ザクセン式林相図



写真-4 ゲンニマトーズ氏式林相図

謝 辞

本資料の作成にあたっては前東京大学大学院農学生命科学研究科大橋邦夫教授よりご助言をいただきました。ここに深く感謝の意を表します。

本資料の作成は平成17年度文部科学省科学研究費「森林資源勘定による水源林の次世代型管理手法・政策の評価—東北地方を対象として—」を受けて行われた。

参考文献

- 泉 桂子・箕輪光博・大橋邦夫・鈴木 誠（2000）千葉演習林沿革史資料（4）—千葉演習林第1次経営計画『千葉縣下演習林経営方案』（本文）一、演習林（東大）39別冊：1-58.
- 白石則彦・土田絢子・泉 桂子・鈴木 誠（2004）東京大学千葉演習林における炭素蓄積量の推定—1995年と1909年の比較—、東京大学農学部附属演習林報告112：11-34.
- 東大農学部附属千葉演習林（1997）千葉演習林第11期試験研究計画（自平成9年度至平成16年度）、演習林（東大）37：1-82.

清澄施業區
面積總括表
明治三十八年八月調

(1)

林班	施業地		除地		計		備考
	町	町	町	町	町	町	
1	34	66			34	66	岩石地約0,町70アリ 樟ノ試植地4,町36, 將來潤葉樹試植地0,町64又 択伐トスヘキ處0,町50 択伐トスヘキ處約0,町50 潰地トナル處約0,町50 岩石地0,町13 択伐ノ箇所約0,町84 岩石地約1,町00 岩石地1,町15 択伐トスヘキ處及試植地2町,26
2	32	43			32	43	
3	26	94			26	94	
4	31	66			31	66	
5	22	56			22	56	
6	22	30			22	30	
7	18	96			18	96	
8	26	58			26	58	
9	13	37			13	37	
10	16	06	2	54	18	60	
11	28	93	2	94	31	87	
12	12	69			12	69	
13	17	58	3	64	21	22	
14	20	17	5	34	25	51	
計	324	89	14	46	339	35	現時スギ, ヒノキ林トシテ施業シ難キ土地 約12,町60又造林見込地内ト蚕トモ地 浅ク急斜ナル爲メ造林シ難キ部分少 ナカラス

(2)

清澄施業區

森林調査簿

明治三十八年八月調

(3)

字	林班	面積 町	地況		林況				積 材	積 總	將來施業要畧		
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	級				每町 尺メ、棚	尺メ、棚
一杯水	1 a	5 3100	中	中	スギ ヒノキ	密	10-13	I	1962 00	2747 00	IV ₂ 小班dヲ伐採スルマテ老木トナシ 置キ後日ニ伐採ス故ニ今後約70年 一回懸林トシ更ニ第四期ニ伐採シス ギ、ヒノキヲ植栽ス		
〃	b	1 4000	中	深	スギ	密	58	III	1962 00	2845 00	IV ₂ 林相ハ疎諸所ニマツ、モミ、スギ ヲ混ス但年輪若シ		
〃	c	1 4500	中	深	〃	〃	〃	III	1962 00	2845 00	II IV ₁ 西南半部ハヒノキノナリ生長宜シ		
〃	d	14 8900	中	中	カシ ヒノキ	疎	11-13	II	11 00	163 80	IV ₂ 中央部ニ崩壊地アリ約0.20		
大ベラ	e	8 7900	急	中	スギ	疎	7	I	1800 00	5076 00	IV ₂ モミ、松莫生、烏帽子山ニ近キ所 約0.50ノ岩石地アリテ林相疎ナリ 老大ノ松散生ス 岩石地アリ約0.20		
〃	f	2 8200	急	深	スギ	中	65	VI	1800 00	5076 00	IV ₂ マツ、モミ混生シテ中林状ヲナス		
	計	34 6600									V _以 II IV ₁ 林班1dニ全シ		
烏帽子	2 a	11 7000	緩	中	スギ	中	5-6	I	20 00	212 80	II IV ₁ 上木一町張約360.5ノヲ有ス		
〃	b	10 6400	中	浅	カシ	中	15-20	II	10 00	21 70	II IV ₁ 上木一町張約360.5ノヲ有ス		
鍛冶坂	c	2 1700	緩	浅	ナラ	中	13	II	35 00	182 00	III 小班dト共ニ伐採ス今後約70年		
〃	d	5 1900	急	浅	カシ 雜	密	15	II			雜木ヲ伐採シスギ、ヒノキノ植栽ス 但岩石地ハ自然ニ委ス		
〃	e	2 7300	急	中	スギ	密	7-11	I			全上 全上		
	計	32 4300									V _以 III 小班dト共ニ伐採ス今後約70年		
鍛冶坂	3 a	10 0100	急	中	ナラ 雜	中	8	I			III 雜木ヲ伐採シスギ、ヒノキノ植栽ス 但岩石地ハ自然ニ委ス		
硯石	b	7 8000	中	中	ナラ 雜	中	8	I			III ホホ、ケヤキ等ノ調葉樹ヲ試植スル 見込、4aト共ニ伐ルヲ便トス		
〃	c	4 1000	中	中	スギ	中	1	I			V _以 III 適宜ノ時期(約80年)ニ伐採又枝下 シ間伐ノ業ニテ製腦ス取利十分ナラ サル時ハスギ、ヒノキノ遺林ヲナス		
〃	d	0 6700	急	中	ナラ	中	8	I					
〃	e	4 3600	中	中	クス	中	5-6	I					
	計	26 9400											

(4)

字	林小班	面積 町	地況		林況			材積		摘要	整理期	將來施業要畧	
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	林級	材積 每町				材積 總
硯石	4 a	6 5700	中	中	ナラ		7	I				b,c,dト分合シテ小班界ヲ整理シスギ、ヒノキヲ植ユ	
〃	b	1 2200	急	淺	マツ		11	I				スギ、ヒノキヲ植ユ	
鷓毛山	c	3 4000	急	淺	カシ		27	III	31 00	105 40			
〃	d	7 2000	中	中	ナラ	密	7	I					
〃	e	1 3000	中	中	スギ		9	I					
小坪沢	f	2 8800	緩	淺	マツ		9-10	I					
〃	g	1 2300	甚緩	中	スギ		8	I					
〃	h	7 8600	急	中	カシ	密	23	III	31 00	243 66		第一期中ニ全部皆伐シスギ、ヒノキヲ植ユ	
	計	31 6600											
一杯水	5 a	1 1900	中	中	スギ		8	I					
〃	b	1 5200	中	中	スギ		20	I					
〃	c	1 6200	中	中	スギ	中	30	III	50 00	46 50		將來b,c小班ニ合スル目的ヲ以テ直チニスギ、ヒノキヲ植ユヘシ	
〃	d	0 9300	急	淺	カシ	疎	50-70	IV	500 00	2430 00		伐採シテスギ、ヒノキヲ植ユ 明治四十二年五月廿九日 達12号ヲ以テ第IV期ニ繰リ下リ	
〃	e	4 0600	中	中	スギ		25	III	50 00	63 50		伐採シテスギ、ヒノキヲ植ユ 急斜面ヲ余リ(全上)	
〃	f	1 2700	急	中	カシ	中	85	V	1700 00	2516 00			
〃	g	1 4800	緩	深	スギ		17	I				伐採後、スギ、ヒノキヲ植ユ、崩壊ニ注意スヘシ	
〃	h	1 8000	緩	中	スギ		20	II	48 00	70 60		スギ、ヒノキヲ植ユ e并ニfニ全ジ	
〃	i	1 4700	緩	深	カシ	中	70	IV	1947 00	5666 00		小班k皆伐ノ時マテ老木トシテ保存ス	
櫻カ尾	j	2 9100	緩	深	スギ	密	25	III	50 00	90 00		尚一回隣林トス山ノ林縁ヲ害セザルコトニ注意スヘシ	
〃	k	1 8000	緩	中	カシ	中	8	I					
〃	l	2 5100	急	中	スギ								
	計	22 5600											

字	林小班	面積 町	地況			林況				概要	整理期	将来施業要略		
			傾斜	深淺	地位	樹種	粗密度	林齡	林齡級				材積	
													尺 ³ ・町	尺 ³ ・圃
櫻カ尾	6 a	4 2400	中	中	2	カシ	中	20	II	45 00	190 80	IV ₂	eト全時ニ皆伐スルノ必要上保存スルナリ故ニ適宜ノ時ニ林相ニ注意シ雜木ヲ利用スルモ可ナリ	
〃	b	0 2300	中	中	1	スギ	中	60	III	2390 00	550 00	I	風害ヲ受クル恐レアリ直チニ伐採スヘシ伐採後直ニスギ、ヒノキヲ植ユ	
梨ノ木台	c	0 8600	中	中	1	カシ	中	25	III	30 00	40 00	V _以 略	eニ控セル部分ノ林縁ニ注意スヘシ 伐採後、スギ、ヒノキヲ植ユ	
〃	d	1 3400	緩	中	2	カシ	中	70	IV	2100 00	3297 00	IV ₂	小班aト全時ニ皆伐ス	
〃	e	1 5700	緩	深	1	スギ	中	25	III	40 00	92 00	I	小班eニ控セル部分ノ林縁ヲ害セサルコトニ注意スヘシ 伐採後スギヒノキヲ植ユ	
〃	f	2 3000	急	中	2	カシ	疎	9-15	I			V _以 略		
〃	g	0 9900	急	浅	3	スギ	中	20	II	20 00	12 00	V _以 略	サハラヲ混ス 火災後補植ス	
〃	h	2 1800	急	浅	3	スギ	中	80	IV	2066 00	1467 00	I	伐採後スギ、ヒノキヲ植ユ	
〃	i	0 6000	緩	中	2	カシ	中	7-12	I			I	全上	
〃	j	0 7000	緩	深	1	スギ	中					V _以 略	三十九年度伐採ヲ終リ四十年年度造林ノコト	
〃	k	3 3400	中	深	2	スギ	中					〃		
〃	l	3 9400	急	浅	2	スギ	中					〃		
	計	22 3000												

字	林小班	面積 町	地況		林況				摘要	整理期	将来施業要畧	
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	材積				
								尺 ³ ・棚				總尺 ³ ・棚
地質	地位	樹種	粗密度	林齡	每町尺 ³ ・棚	總尺 ³ ・棚						
山ノ神下	7 a	1 8000	中 白岩層	2	スギ カン	中	20-35	II	600 00	900 00	サハララ混ス モミ、サハラ、スギラ混ス サハララ混ス 伐採後スギ、ヒノキラ植ユ 老木トナリシ後伐採シ新植ス 伐採シスギ、ヒノキラ植ユ 今後四十年ノ後伐採シスギ、ヒノキラ植ユ hヲ伐採セル時造林スヘシ	
〃	b	2 9500	急 白岩層	2	スギ カン	密	12	II	15 00	44 00		
キンツルシ	c	3 6800	急 真根層	2	スギ		8-11	I				
〃	d	2 3000	中 真根層	2	スギ	中	85	V	2600 00	5980 00		
〃	e	0 8300	中 白岩層	2	スギ カン	疎	45	III	986 00	818 00		
願人坊	f	3 1300	中 白岩層	2	スギ カン	中	13	II	18 00	56 30		
〃	g	2 7100	中 真根層	2	スギ		9-11	I				
〃	h	0 7100	緩 真根層	1	スギ カン	中	70	IV	2000 00	1420 00		
〃	i	0 8500	急 真根層	2	スギ カン	密	15	II	25 00	21 00		
	計	18 9600										

字	林小班	面積 町	地況		林況				積材 毎町 尺ノ、棚	積材 尺ノ、棚	概要	整理期	将来施業要畧
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	林齡級					
下馬不動下 願人坊	8 a	3 1600	急	中	カシ 雜	中	13	II	20 00	63 00	スギ、モミヲ混ス	II	皆伐シテスギ、ヒノキヲ植ユ
	b	1 3100	緩	中	スギ サハラ	中	70	IV	1800 00	2358 00	モミ少許ヲ混生ス	IV ₂	小班區劃ノ整理ヲ要ス
	c	0 5900	急	中	スギ	密	25	II	650 00	384 00		IV ₂	全上
	d	4 8600	中	中	スギ	中	35	II	1400 00	6804 00	溪ニ沿ヒ雜木混生ス 伐採中、但上部ニ一部0.10計ヲ造林2年 生ノスギアリ	IV ₂	
新町松葉 願人坊	e	1 3000	中	中		中						V _{1B10}	
	f	1 9100	中	中	スギ	中	71	IV	2880 00	5501 00	モミ及雜木ヲ混ス特ニ東南端ニモミ多シ 多クノスギヲ混シモミ点生ススギハ20年 生	IV ₂	車道林道設置ノ後利用スルヲ要ス
	g	2 4300	緩	中	カシ 雜	中	10	I				III	皆伐シテ造林ス
	h	0 6800	中	深	スギ	密	78	IV	2600 00	1768 00	少許ノモミヲ混ス	IV ₂	必要ニ應シ五期以前ニ伐採スルモ可ナリ
新町松葉 大ク木	i	1 4600	中	中	スギ	中	8	I				IV ₂	將來iニ合スル見込
	j	0 3200	急	中	スギ	中	56	III	1740 00	557 00	モミ、雜木ヲ混ス 山背ニモニ及雜木ノ林縁ヲ有ス、南端溪 流ニ接シスギ50年生ノモノ團生ス 北方ノ小部分ニ8年生以上ノスギ團生ス、 山背ニモミ及ヒ雜木ノ林縁ヲ有ス	I	
	k	4 3000	中	中	スギ	中	8	I				V _{1B10}	
	l	4 2600	中	中	スギ	中	8	I				ク	
小屋ケ尾	計	26 5800	急	中							伐採中(雜木)	V _{1B10}	第I期ニハ 北端ノ一部 ヲ伐採スル コト
願人坊	9 a	2 6900	急	中		中	85	V	2700 00	7020 00		IV ₂ I	車道林道設置ノ後利用スルヲ要ス 四拾 五年五月廿九日達第11号ヲ以テI期并ニ II期中ニ伐採スルコトニ改メラル
	b	2 6000	中	中	スギ	中						II	
	c	0 6700	中	淺	カシ 雜	密	20	II	35 00	23 50	溪ニ沿ヒシ部分ハ傾斜頗ル急ナリ 中央ノ平坦ナル部分ハ目下蒼生地 通称武者土ノ台	III	沢ニ沿ヘル所ハ皆伐ヲナス 雜木ヲ自生セシメ後日スギ、ヒノキヲ植 ユ
	d	7 4100	甚緩	深	ナラ	密	8	I				III	
計		13 3700	全	全上									

字	林小班	面積 町	地況		林況				摘要	整理期	将来施業要略		
			傾斜	深淺	地位	樹種	粗密度	林齡				材積	
												尺メ、棚	尺メ、棚
後沢	10 a	0 1300	険	中	3	カシ				V ₁₄₆	岩石地ニシテ施業スルコト能ハス		
	〃 b	0 3800	白岩層	中	2	雑スギ				〃			
	〃 c	0 5000	急全	上中	2	ヒノキ		1060 00	530 40	〃			
	〃 d	2 4400	緩全	上深	2	スギ				〃			
井戸沢	e	2 4800	急全	上浅	2					〃	伐採跡地		
	f	4 5700	中全	上中	2					〃			
丸山	g	1 1200	中全	上中	2	スギ				〃	全上		
	h	1 1900	中全	上浅	2	スギ				〃			
観音南沢	i	0 7500	中全	上中	2	スギ		531 00	398 30	〃	老木ノマツト数本アリ		
	j	1 9000	中全	上中	2	スギ				〃			
〃	k	0 6000	急全	上浅	3	サハラ	中			II	縣道ニ當ル時ハ早ク伐採シテ可ナリ		
〃	l	2 5400	急全	上中	3	スギ				V ₁₄₆	縣道ニ當ル時ハ殆ント遺地トナル		
計		16 0600	…除地							〃			
		2 5400											
		18 6000											

字	林小班	面積町	地況		林況				摘要	將來施業要略		
			傾斜	深淺	地位	樹種	粗密度	林齡		林級	材積	整理期
観音南沢	11 a	1 7900	急	浅	2	ナラ		8	I		皆伐シテ造林ス	II
			真根	白岩層		雜						
	b	11 6000	急	中	2	スギ		9-11	I		明治28年-30年度ニ種ウ	IV ₂
	c	11 5200	急	中	2	スギ		9-11	I		全上	IV ₂
	d	3 1800	急	中	2	スギ		2	I			V _原
	e	0 8400	急	浅	3	ヒノキ		20	II		浜ニ向ヒ岩石露出急斜ス	
	f	1 3000	急	浅	2	カシ					除地、外國樹種ヲ種ウ	
g	1 6400	急	浅	3	雜	疎				除地		
	計	28 9300	…除地									
		2 9400										
		31 8700										
飛越	12 a	3 0000	中	中	2	スギ		1-8	I		演習ノ爲メ毎年少許宛種ウ、南一部6g	V _原
			真根層			スギ					ニ種シテ約15年生ノ杉團生ス	
	b	2 8200	中	中	2	スギ		8	I			
			中			ヒノキ						
	c	0 9600	中	中	2	スギ		15	I			
	d	1 2000	急	浅	3	スギ					伐採中岩石地ナリ	
	e	2 6700	急	中	2	スギ		1	I			
ピシヤモン	f	0 3000	急	浅	3	カシ		11	II		モミノ老木ヲ混ス	I
			中	中		雜						V _原
	g	0 3600	中	中	2	スギ		11	I			
			中									
	h	1 1900	急	深	1	スギ	中	145	VI		下方ニモミヲ混ス	I
			中	深		スギ	密	35	II			V _原
	i	0 1900	急	深	1	スギ						
	計	12 6900										

字	林小班	面積町	地況		林況				摘要	整理期	将来施業要略	
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	材積				
								尺メ、棚				尺メ、棚
十面沢	13 a	2 1000	急	中	カシ	中	11	10 00	21 00	II	皆伐シテ造林ス	
	飛越	3 0600	中	中	カシ	中				V _{昭和}		
十面沢	c	2 6700	急	中	スギ	疎	50-80	700 00	1869 00	I	一二年間皆伐シ造林ス	
	々	2 0000	急	中						V _{昭和}		
々	e	0 3200	急	浅	雑		1			III	多クハ岩石地ニシテ造林シ難シ	
々	f	1 2500	中	中	スギ		1			V _{昭和}		
々	g	0 7100	中	中						V _{昭和}		
鹿島	h	0 6400	急	浅	カシ	密	12	12 00	7 70	I	多クハ岩石地ナリ	
	今澄	0 7500	急	浅	スギ		1			V _{昭和}		
々	j	0 1900	急	浅	カシ	中	15	10 00	1 90	I	岩石地多シ出来得ルニ造林ス	
大降西	k	1 2600	中	中	雑	中	15	10 00	12 60	I	皆伐シテ造林ス	
	今澄	2 6300	中	中	カシ	疎	20	22 00	58 00	I	皆伐シテ造林ス一部造林シ得サル所アリ	
浅間山	m	3 6400	中	中	原生林						禁伐除地	
	計	17 5800	…除地									
		3 6400										
		21 2200										

字	林班	小	積面	地況		林況				摘要	整理期	將來施業要	
				傾斜	深淺	地位	樹種	粗密度	林齡				齡級
		町	町	地質			尺メ、棚	尺メ、棚	總				
大降東	14 a	1	10000	緩	淺	3	カシ 雜	中	21	III	55 00	55 00	風致上択伐ノ見込
〃	b	1	4200	緩	深	1	スギ06 サハラ04	密	40	II	1218 94	1734	V _{第6}
〃	c	0	9200	稍緩	淺	2	カシ 雜	中	21	III	45 00	40 00	a小班ニ同シ
地藏堂堀	d	0	7300	急	中	1	スギ	疎	42	III	252 05	182	極メテ疎立潤葉樹ヲ混ズ
今澄	e	1	7200	中	淺	3	スギ ヒノキ		3	I			スギ10年及ビサハラ20年生ノモノ圍生スヒ ノキ4年生ノモノアリ
大降西	f	1	0100	急	淺	2							皆伐中(雜木、樅、松、杉、樺)
地藏堂堀	g	0	3600	中	淺	2	マツ						Pinus Australia
大降西	h	0	5200	急	淺	3	カシ 雜	中	7	I			モミ、スギヲ混ズ
〃	i	2	6400	急	深	3	スギ		20	II	75 00	39 00	V _{第6}
〃	j	2	5800	中	淺	1	モミ マツ	中	1	I			III
〃	k	4	3700	急	淺	2	スギ ヒノキ		110	IV	2700 00	6966 00	V _{第6}
〃	l	2	9000	中	淺	2	スギ ヒノキ		1-3	I			V _{第6}
〃	m	2	1000	中	淺	3	見本林		2	I			V _{第6}
地藏堂堀	n	0	6000	中	深	1	見本林						老大ノ天然林モミヲ主トシマツツヲ混ズ
〃	o	2	2100	急	中	2	見本林						除地
大降東	p	0	4300	急	淺	2	見本林 官舎敷地						除地
	計	20	1700	…除地									
		5	3400										
		25	5100										

清澄施業區
整理案
明治三十八年八月調

(13)

整理期一覽			今後ノ年数
第一期	明治三九ヨリ 四三至ル	五ヶ年間	1-5
第二期	四四ヨリ 五三至ル	十ヶ年間	6-15
第三期	五四ヨリ 六三至ル	十ヶ年間	16-25
第四期	六四ヨリ 八八至ル	IV ₁ 五年間 IV ₂ 二十年間	25-50

備考 第一期整理期終了ノ後ハ其ノ実行ノ結果ニ徴シ第二期ニ對シ更ニ初期五年間ノ整理案ヲ編製スルモノトス
第一期ノ最後ニ伐採セル箇所ハ第二期ニ造林スルヲ普通トスレトモ其造林スヘキヤ否ヤ明カニスル爲メ第一期ノ表ニ記入シ置ケリ第二期以後又同シ故ニ第一期分造林地面積ハ較大ニ過クルコトトナレリ (則チ初年造林箇所丈ケ)
第一期ノ収額豫定ハ現材積ヲ以テ算シタリ即チ僅カニ五ヶ年ナルヲ以テ之カ生長量ヲ加算セス
第一期分ニ本年度 (三十八年度) 伐採スヘキ箇所ヲ含メリ從テ此期ノ終ニ至リ多少第二期ノ分ヲ繰上ル必要生セン

(14)

第一期 明治三九-四三年ニ至ル五年間

林班 小班	整理地 面積 町		造林地 面積 町		造林シ得ヘキ 面積 % 町		収 額 豫 定 町		備 考
			24 42	平均	80	19 54			明治三十八年内ニ未立木地トナルヘキモノ ニシテ其林 班ハ5b,6c,h,k,9a,10e,f,13b,d,gノ10ヶ所ナリ
4 h		7 86	7 86	80	6 29	234 66	タナ タナ。		(第IV期ニ繰延ベノコト) 林況簿ヲ見ヨ
5 d		0 93	0 93	75	0 70	1500 00	尺メ		
i		1 47	1 47	90	1 32	70 60	タナ		
						50 00	タナ		
k		1 80				550 00	尺メ		
6 b		0 23	0 23	100	0 23				
d		1 34	1 34	100	1 34	350 00	尺メ		
						40 00	タナ		
i		0 60	0 60	80	0 48	12 00	タナ		
						1467 00	尺メ		
j	ス	0 70	0 70	85	0 60			尚ホ一回矮林トス	
f		2 30	2 30	85	1 96	92 00	タナ	gニ接セル部分ノミ(約0,町10)造林ス	
7 i		0 85				21 00	タナ		
						557 00	尺メ		
8 j	ス	0 32	0 32	95	0 30			尚ホ一回矮林トス	
12 h	ス	1 19	1 19	100	1 19	5616 80	尺メ	縦ノ老木アリ	
f		0 30	0 30	70	0 21	4 50	タナ		
						1869 00	尺メ		
13 c	ス	2 67	2 67	70	1 87			多クハ岩石地ナル故天然ノ發生ニ委ス	
h		0 64				7 70	タナ	全上縦ヲ混ス	
j		0 19				1 90	タナ	杉、縦ヲ混ス	
k		1 26	1 26	85	1 08	12 60	タナ	上木点生ス	
l		2 63	2 63	85	2 24	58 00	タナ	全上	
14 h		0 52	0 52	85	0 44	39 00	タナ		
	雑 スキ	24 51 3 92							
小計		27 80	48 74	82	39 79			第二期以後ハ豫定地約80%造 林シ得ル見込	
一ヶ年平均		5 56	9 75		7 96				

* 1棚=2.78ラウムメーター。

** 1尺メは地方によって12, 13, 14, 15立方尺など様々である。1立方尺=0.02783m³。

第二期 明治四四-五三年ニ至ル十ヶ年間

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考
1 d	14 89			尚ホ一回矮林トス
2 b	10 64			全上
c	2 17			全上
d	5 19			全上
5 e	4 06	4 06		第Ⅳ期ニ繰延ベ 林況簿ヲ見ヨ
f	1 27	1 27		〃 〃
7 b	2 95	2 95		
f	3 13	3 13		
8 a	3 16	3 16		
10 i	0 75	0 75		
11 a	1 79	1 79		
13 a	2 10	2 10		
計	52 10	19 21		
一ヶ年平均	5 21	1 92		

(16)

第三期 明治五四-六三年ニ至ル十ヶ年間

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考
3 a	10 01	10 01		
b	7 80	7 80		
d	0 67	0 67		
4 a	6 57	6 57		
b	1 22	1 22		
c	3 40	3 40		
d	7 20	7 20		
f	2 88	2 88		
5 g	1 48	1 48		
8 g	2 43	2 43		
9 c	0 67			一部擇伐トシ一部ハ造林ス
d	7 41	7 41		
13 e	0 32			岩石地ナリ
14 d	0 73	0 73		
j	2 58	2 58		或ハ此期以前ニ整理スルモ可ナリ
計	55 37	54 38		
一ヶ年平均	5 54	5 44		

(17)

第四期ノ一 明治六四—六八年ニ至ル五ヶ年間

林班 小班	整理地 面積 町		造林地 面積 町		収 額 豫 定		備 考
1 d	14	89	14	89			本期ハ中間期ニシテ未タ喬林ノ主伐ニ着手スルコト能ハス 伐採後約20年生トナル雜木
2 b	10	64	10	64			
c	2	17	2	17			
d	5	19	5	19			
計	32	89	32	89			
一ヶ年平均	6	58	6	58			

(18)

第四期ノ二 明治六九—八八年ニ至ル二十ヶ年間（新施業期開始）

林班 小班	整理地 面積 町		造林地 面積 町		収 額 豫 定		備 考
1 a	5	31	5	31			二間川ノ車通道路ヲ設置ス
b	1	40	1	40			
e	8	79	8	79			林相ニ注意シ第一期又ハ第二期ニ一回雜木ヲ伐採スルモ可ナリ
f	2	82	2	82			
5 j	2	91	2	91			
k	1	80	1	80			
6 a	4	24	4	24			
e	1	57	1	57			
7 d	2	30	2	30			
h	0	71	0	71			
i	0	85	0	85			
8 b	1	31	1	31			
c	0	59	0	59			
d	4	86	4	86			
f	1	91	1	91			
h	6	80	6	80			
i	1	46	1	46			
9 b	2	60	2	60			
11 b	11	60	11	60			
c	11	52	11	52			
計	75	35	75	35			
一ヶ年平均	3	77	3	77			

(19)

奥山施業區
面積總括表
明治三十八年八月調

(20)

林班	施業地 町	除 地 町	計 町	備 考
1	28 55		28 55	
2	62 65		62 65	刈上ケ場 5町,00 残ス
3	70 84	0 88	71 72	部分林 2町,32
4	38 81	1 42	40 23	刈上ケ場 5町,00 残ス
5	61 49		61 49	刈上ケ場 2町,00 残ス
6	67 08		67 08	
7	37 30		37 30	刈上ケ場 3町,00 残ス
8	28 33		28 33	部分林 5町,09 造林シ難キ部分 1町,40
9	29 30		29 30	
10	47 42		47 42	
11	65 58		65 58	
12	62 24		62 24	
13	43 63		43 63	
14	46 34		46 34	擇伐ノ箇所 1町,00
15	32 56	0 75	33 31	擇伐ノ箇所 0町,50
16	62 65		62 65	
17	25 47		25 47	
18	38 94		38 94	
19	59 00		59 00	樟試植地 6町,35
20	41 45		41 45	
21	48 98		48 98	
22	42 66		42 66	
23	32 08		32 08	
24	59 78		59 78	

(21)

林班	施業地 町	除地 町	計 町	備 考
25	38 04		38 04	
26	44 63		44 63	
27	42 76		42 76	造林シ難キ部分2町,40
28	48 61		48 61	
29	60 76		60 76	1町,56造林シ難シ
30	42 37		42 37	
31	42 12		42 12	1町,95造林シ難シ
32	51 43	2 21	53 64	
33	55 77		55 77	1町,50造林シ難シ
34	38 80		38 80	
35	33 08		33 08	
36	57 33		57 33	
37	66 33		66 33	
38	46 05		46 05	
計	1801 21	5 26	1806 47	約40町,00ハ今直チニ造林シ難シ其他部分ト蚕トモ30%ハ地浅ク急斜ニシテ杉, 扁柏ヲ造林スルコト能ハサル見込

奥山施業區 森林調査簿 明治三十八年八月調

(23)

字	林小班	面積町	地況		林況				積材 每町尺メ、棚 總尺メ、棚	摘要	整理期	將來施業要畧
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	齡級				
郷田倉	1 a	1 9600	急	中	スギ		11	I			IV	皆伐シcト共ニ造林ス
〃	b	6 9400	中	中	スギ		5-11	I			〃	第一期ニ上部ヲ造林シ第四期ニ下部ヲ造林ス一部ハa, b, dト共ニ整理ス
〃	c	18 7700	急	中	カシ 雜	密	13	II	15 30	287 20	II IV	皆伐 (第四期ノ終リニ伐採今後四十五年)
〃	d	0 8800	中	中	スギ		11	I			IV	
	計	28 5500										
郷田倉	2 a	11 0000	急	淺	未立木地						IV	火入ヲ嚴禁シ雜木ヲ自生セシメbノ造林期ニ養シテ造林ス、約半ハ造林ス
〃	b	38 7200	急	中	カシ 雜	密	14	II	16 60	642 75	II	第二期ニ下部ヲ造林ス第四期ニ上部ヲ造林ス
〃	c	2 0400	緩	深	スギ		12	I			IV	
〃	d	2 4700	中	中	スギ		4-12	I			V _{以迄}	
〃	e	1 2300	緩	深	スギ	密	21	II	260 00	319 80	〃	後日dニ合ス
〃	f	1 9100	急	淺	スギ		12	I			〃	
〃	g	3 3500	平	深	スギ		12	I			〃	
〃	h	1 9300	緩	深	スギ		54	III	1400 00	2702 00	II	bノ下部造林ト共ニ整理ス
	計	62 6500										黄和田畑特實箇所ナリ

(24)

字	林小 班班	面積 町	地況			林況			積 材 每町 尺メ、棚 尺メ、棚 尺メ、棚	摘要	將來施業要畧	
			傾斜	深淺	地位	樹種	粗密度	林齡				林齡級
前澤	3 a	11 5900	急	中	2	スギ ヒノキ		1	I		V _{第6}	全面積ノ80%造林シ得ル見込 三期ノ終リ今後25年ニ整理ス 四期ノ終リ今後50年ニ整理ス 皆伐後造林約70%造林シ得ル見込 下木ハ三十八年度ニ伐採 cト共ニ整理ス
	〃 b	4 7300	中	中	2	未立木地 カシ		1	I	上木伐採中	I	
	〃 c	18 6600	中	中	2	カシ		21	III	上木存在ス上木毎町歩170尺メ	III	
	〃 d	9 9600	中	中	3	カシ	中	1	I	上木存在ス毎町歩170尺メ (總1698尺メ、20)	IV	
	〃 e	4 9600	急	淺	2	カシ		13	II	上木ナシ	II	
	〃 f	10 2000	急	淺	3	カシ	疎	1	I	上木存在ス毎町歩850尺メ	V _{第6}	
	〃 g	3 1500	中	深	2	スギ ヒノキ		5	I	火入ヲ止メシタメ雜木生ス一部苗圃トシテ 使用、約一反歩	〃	
	〃 h	3 2300	全	上	2	未立木地		25	II	上木ナシ	〃	
	〃 i	2 0400	急	淺	3	カシ		5	I	部分林 (二官八民)	〃	
	〃 j	1 2900	緩	深	2	スギ		5	I	部分林 (后ニ補植セル部分ナリ)	〃	
〃 k	1 0300	中	中	2	スギ				周圍草生地	〃		
前澤	1	0 8800	平垣 洪積層	深	2	苗圃				黄和田特實箇所	〃	
計		70 8400 0 8800 71 72	…除地									
仲澤	4 a	27 1000	急	淺	2	カシ		21	III	上木存在ス毎町歩170尺メ (總4607尺メ、00)	I	沢ノ南部造林、全時ニ耕地ニ接セル部分ヲ整理ス 南部50%造林シ得、下木ハ三十八年度伐採(一部) 火入ヲ嚴禁シ雜木ヲ自生セシメタト全時ニ整理ス 約半造林
	〃 b	11 7100	急	淺	3	未立木地				諸所ニ雜木散生ス内一部ハ耕地ノ刈場場	IV	
	〃 c	1 4200	全	上	2	苗圃				周圍草生地	IV	
計		38 8100 1 4200 40 2300	…除地							黄和田畑特實箇所		

字	林小班	面積 町	地況		林況				摘要	整理期	将来施業要		
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	輪級				材積	
												尺メ、棚	尺メ、棚
濁川	5 a	11 3800	中	3	カシ 雑	中	15	II	12 00	136 56	二期ニ分チ造林ス 火入ヲ嚴禁シ雜木ヲ自生セシムヘシト共ニ成ルヘク造林ス 全上、但シ造林シ難シ		
	〃	30 2300	中	2	カシ 雑	中	17	II	15 00	453 45			
	〃	15 2400	中	3	カシ 雑	中	18	II	11 00	167 64			
	〃	4 0600	緩	2	未立木地								
	〃	0 5800	急	3	〃								
	計	61 4900											
濁川	6 a	67 0800	中	1	カシ 雑	中	15	II	22 00	1475 76	第一期林班7ニ接スル部分造林 (70%ノ見込) 黄和田特實箇所		
	計	67 0800											
	7 a	0 8600	緩	2	未立木地								
濁川	〃	31 3300	急	2	カシ 雑	中	16	II	16 00	501 28	火入ヲ嚴禁シ雜木ヲ自生セシムヘシ成ルヘク造林ス 黄和田特實箇所		
	〃	5 1100	中	2	未立木地								
	計	37 3000											
千石澤	8 a	9 6200	中	2	スギ ヒノキ		3	I			造林シ得ル部分少シ		
	〃	6 5200	急	3	カシ 雑		6	I					
	〃	2 5200	急	2	スギ ヒノキ		4	I					
古川	〃	1 4000	急	3	カシ 雑		1	I			造林スルコト難シ		
	〃	3 1800	急	2	スギ ナラ		1	I					
	計	5 0900	緩	2	雑		12	II					
千石澤	計	28 3300	洪積層								部分林解除後造林		

字	林小班	面積 町	地況		林況			積		概要	整理期	将来施業要畧	
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	林級	材				總
平塚沢	9 a	4 5000	急	中	カシ	密	27	III	65 00	292 50	I	下木ヲ三十八年度ニ伐採 第三期ニ造林ス 造林65%ノ見込	
	〃 b	7 7000	中	中	未立木地 カシ		1	I			III		
	〃 c	9 6600	中	中	カシ		14	II			I		
	〃 d	7 4400	急	中	カシ	疎					III		
	計	29 3000	急	中	カシ		4	I			III		
大仙場	10 a	11 4300	急	中	カシ		4	I			III	上木存在ス小木ナリ 上木伐採中 上木伐採中 上木少シ 黄和田特賣箇所 上木ナシ 全上	
	〃 b	5 3400	急	中	カシ		4	I			III		
	〃 c	11 5000	急	中	スギ		5	I			V _{経過}		
	〃 d	6 0300	中	中	スギ スギ ヒノキ		4	I			〃		
	〃 e	8 3000	中	中	スギ		5	I			〃		
	〃 f	4 8200	急	浅	カシ	疎	15	II	1 500	72 30	II		
	計	47 4200	急	浅	カシ						IV		
真根沢	11 a	8 3400	中	中	カシ	密	20	II	65 00	542 10	I	90%造林シ得ル見込、下木三十八年度伐採 第四期ニ造林ス 75%造林シ得ル見込	
	〃 b	2 5900	中	中	スギ		4	I			V _{経過}		
	〃 c	10 5000	急	中	カシ	密	22	III	45 00	472 50	I		
	〃 d	21 4900	中	中	カシ	〃	16	II	30 00	644 70	IV		
	〃 e	7 1000	急	中	未立木地 カシ						II		
	〃 f	7 0300	急	中	カシ		1	I			III		
	〃 g	2 7200	急	中	カシ		7	I			III		
	〃 h	5 8100	急	中	カシ		10	I			IV		
	計	65 5800	急	中	カシ						IV		

字	林小班	面積 町	地況			林況				概要	整理期	将来施業要旨	
			傾斜	深淺	地位	樹種	粗密度	林齡	齡級				材積 毎町 尺メ、棚
真根沢	12 a	24 3400	中	中	1	カシ 雑	密	21	III	53 00	1290 02	第一期二沢ノ東部造林85%ノ見込	
	〃 b	1 3300	急全	中	3	カシ 雑		9	I				
	〃 c	21 9500	急全	中	2	カシ 雑		8	I				
	〃 d	14 6200	急全	中	2	カシ 雑		9	I				
	計	62 2400											
長尾澤	13 a	8 8100	急	中	2	カシ 雑		10	I			第一期二東部造林80%ノ見込	
	〃 b	8 3200	急全	中	2	カシ 雑	密	16	II	35 00	291 20		
	〃 c	11 1400	中全	中	1	スギ ヒノキ		23	I				
	〃 d	12 4100	急全	中	2	カシ 雑		3	I				
長尾澤	〃 e	2 9500	中全	中	2	カシ 雑	密	19	II	40 00	118 00	第一期二東部造林80%ノ見込 第一期沢ノ上流造林70%ノ見込 擇伐ニヨリ取扱フ	
	計	43 6300											
仁ノ沢	11 a	19 1000	中	中	2	カシ 雑		1-2	I	42 00	1102 08	第一期沢ノ上流造林70%ノ見込 擇伐ニヨリ取扱フ	
	〃 b	26 2400	急全	中	2	カシ 雑	密	21	III	32 00	32 00		
	〃 c	1 0000	中全	中	2	カシ 雑	密	21	III				
	計	46 3400											

字	林小班	面積町	地況		林況				積	將來施業要畧
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	材積		
			地質	地位	種	度	齡級	每町尺メ、	總尺メ、	整理期
仁之沢	15 a	6 4300	中 白岩層	1	カシ	密	20	38 00	244 34	第三期ニ造林ス、下木三十八年度ニ伐採
	〃	10 3200	急上	3	カシ	〃	7	〃	〃	
	〃	12 6100	急 清澄、白岩層	2	カシ	密	20	38 00	479 18	
	〃	2 5200	緩 白岩層	1	カシ	〃	16	20 00	50 40	
	〃	0 6800	緩 白岩、清澄層	1	スギ	中	57	1560 00	1060 80	
	〃	0 2500	平坦 洪積層	2	苗圃	〃	〃	〃	〃	
	〃	0 5000	平坦地 洪積層	1	苗圃	〃	〃	〃	〃	
	計	32 5600 0 7500 33 3100	…除地							
荒腔澤	16 a	1 5000	中 白岩層	2	カシ	密	1	17 00	236 13	一部十五年生ノ雜木圃生ス 上木存在ス毎町歩110尺メ 上木存在ス毎町歩110尺メ 上木莫生ス 全上 全上 全上 全上 四方木特賣箇所
	〃	13 8900	中 白岩、清澄層	2	カシ	密	15	20 00	202 00	
	〃	10 1000	急上	3	カシ	〃	17	20 00	201 40	
	〃	10 0700	急 清澄層	2	カシ	中	16	20 00	179 00	
	〃	8 9500	急上	2	カシ	密	15	15 00	57 00	
	〃	3 8000	急上	2	カシ	中	15	15 00	102 90	
	〃	6 8600	急上	3	カシ	密	14	15 00	127 16	
	〃	7 4800	急上	2	カシ	〃	16	17 00	〃	
	計	62 6500								

字	林班	積面町	地況		林況				摘要	整理期	將來施業要畧		
			傾斜	深淺	地位	樹種	粗密度	林輪				材積	
												毎町	總
小屋ノ沢	17 a	1 6600	急	中	2	カシ 雜	疎	22	III	46 00	76 36	第四期ニ造林ス	
	〃 b	8 9500	急全	中	2	カシ 雜	〃	16	II	20 00	179 00		
	〃 c	6 5900	急全	中	2	カシ 雜	中	16	II	24 00	158 16		
	〃 d	8 2700	急全	中	2	カシ 雜	〃	9	I				
	計	25 4700										四方木特賣箇所	
神田上	18 a	2 2700	緩	深	1	スギ	中	54	III	2400 00	5448 00	老木ト成シ置キdト共ニ整理ス	
	〃 b	2 9200	中	中	2	スギ	〃	8	I				
	〃 c	1 2800	中全	中	2	スギ	疎	54	III	1700 00	2176 00		
	〃 d	31 9700	急全	浅	2	カシ 雜	〃	10	I				
	〃 e	0 5000	緩全	中	2	スギ	〃	8	I				
	計	38 9400										黄和田特賣箇所	
上人沢 赤井沢 上人沢	19 a	6 3500	平坦	深	2	未立木地						後日適當ノ造林ヲ爲ス 第二期ニ北部, 第三期ニ中央部, 第四期ニ 南部ヲ造林ス	
	〃 b	52 6500	急	浅	3	カシ 雜	〃	10	I				
	計	59 0000	急	浅									
滝之沢	20 a	17 6100	中	中	1	カシ 雜	中	21	III	15 00	264 15	第一期下流造林90%ノ見込 第一期上流造林80%ノ見込 60%造林シ得ル見込	
	〃 b	14 7700	急全	中	2	カシ 雜	中	21	III	15 00	221 55		
	〃 c	9 0700	急	中	2	カシ 雜	中	20	II	15 00	136 05		
	計	41 4500										黄和田特賣箇所	

字	林小班	面積町	地況		林況				積材 尺メ、棚	積材 尺メ、棚	積材 尺メ、棚	摘要	整理期	將來施業要略
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	林級						
山根沢	21 a	17 2600	急	中	カシ	中	20	II	15 00	258 90	上木存在毎町歩300尺メ 上木ナシ	II	將來施業要略	
	b	31 7200	中	中	カシ	中	11	II	8 00	253 76				
	計	48 9800									黄和田特賣箇所 (里シ小根中、折木沢)			
檜尾	22 a	9 3700	中	深	カシ	密	25	III	60 00	562 20	上木存在ス毎町歩300尺メ (總2811尺メ、00) 全 270尺メ 全 350尺メ 全 440尺メ (總5566尺メ、00) 折木澤特賣箇所	I	85%造林シ得ル見込、下木三十八年度ニ伐採	
	b	6 3200	中	深	カシ	〃	21	III	48 00	303 36				
	c	14 3200	急	中	カシ	〃	21	III	40 00	572 80				
	d	12 6500	中	中	カシ	〃	29	III	50 00	632 50				
	計	42 6600												
亀ノ沢	23 a	17 3300	中	中	カシ	疎	20	II	35 00	606 55	上木存在毎町歩450尺メ 上木存在毎町歩450尺メ 折木澤特賣箇所	II		
	b	14 7500	急	浅	カシ	〃	20	II	30 00	442 50				
	計	32 0800												
池ノ沢	24 a	10 2800	中	中	カシ	中	10	I			上木存在毎町歩60尺メ 老木雜木諸所ニ團生ス 上木ナシ	II	第四期ニ造林ス	
	b	15 1100	中	中	カシ	中	2	I						
	c	8 5900	急	中	スギ	2-4	2-4	I						
	d	17 7300	急	中	カシ	7	7	I						
	e	8 0700	急	中	カシ	7	7	I						
	計	59 7800									黄和田特賣箇所	V _{第6}		

字	林小班	面積町	地況		林況				摘要	整理期	将来施業要畧	
			深淺	傾斜	樹種	粗密度	林齡	林級				材積
四郎治澤	25 a	14 3300	急	淺	スギ		5	I			約三分ノ一ハ急斜地ナルヲ以テ雜木ヲ自生セシム 上木存在ス毎町歩280尺メ 黄和田特實箇所 上木存在毎町歩200尺メ 全 280尺メ 上木伐採中 上木存在毎町歩280尺メ 黄和田特實箇所 上木存在毎町歩280尺メ 上木伐採中 上木ナシ急斜ナルヲ以テ造林困難、雜木ヲ自生セシム 黄和田特實箇所 上木点生ス 上木存在ス毎町歩300尺メ 折木澤特實箇所	
	b	23 7100	急	中	カシ		6	I				
	計	38 0400	急	清澄層	雜							
	26 a	4 4400	中	中	カシ	中	14	II	14 00	62 16		
	々	6 0300	中	中	カシ		7	I				
	々	2 4000	中	中	スギ		1	I				
四郎治澤	々	12 7000	中	中	未立木地						80%造林シ得ル見込 III V _{DEF} I III V _{DEF} III IV I V _{DEF} III II II IV	
	々	18 3600	急	淺	カシ		3	I				
	々	0 7000	緩	深	スギ		2	I				
	計	44 6300	急	清澄、白岩層	雜							
	27 a	20 4000	急	中	カシ		4	I				
	々	14 2000	中	中	雜							
四郎治澤	々	5 7600	中	中	未立木地						75%造林シ得ル見込 V _{DEF} III 殆ント造林シ難シ II II IV	
	々	2 4000	急	淺	スギ		1-2	I				
	計	42 7600	急	全上	カシ		5	I				
	28 a	8 2400	中	中	ナラ	中	17	II	30 00	247 20		
	々	40 3700	急	淺	カシ	密	14	II	15 00	605 55		
	計	48 6100	急	清澄層	雜							

字	林小班	面積町	地況		林況				摘要	整理期	将来施業要略	
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	材積				
								尺メ、棚				尺メ、棚
洞沢	29 a	18 3300	急	中	カン		7	I				
	〃	1 7700	緩	中	ナラ		20	II	35 00	61 95	造林シ難シ	
	〃	1 5600	急	浅	ナラ		4	I			第二期二澤ノ西北部15.000造林	
	滝ノ沢	39 1000	急	中	カン		15	II	25 00	977 50		
	計	60 7600			ナラ		4	I			折木沢特賣箇所	
滝ノ沢	30 a	6 3100	緩	深	ナラ		4	I			上木炭生ス	
	〃	1 7700	急	浅	ナラ		12	II	12 00	21 24	上木ナシ	
小屋ノ沢	c	13 5100	急	中	カン		12	II	13 00	175 63	上木ナシ	
	〃	14 3600	緩	中	カシ		12	II	17 00	244 12	上木ナシ、カシ少シ	
〃	e	5 6400	中	中	スギ		11	I			V _{DEF}	
〃	f	0 7800	中	中	未立木地						I	
	計	42 3700									造林シテeニ合スル見込	
相ノ沢	31 a	1 9500	急	浅	カン		8	I			折木沢特賣箇所	
	〃	10 9700	中	中	スギ		3	I			上木ナシ急斜ニシテ造林ノ見込ナシ	
	〃	18 8700	急	中	ヒノキ		7	I			約四分ノ一ハ急斜ニシテ造林ノ見込ナケレハ雑木ヲ自生セシム	
	〃	10 3300	急	中	カン		1	I			上木ナシ	
	計	42 1200			カン		1	I			上木伐採中	
					雑						折木沢特賣箇所	

字	林小班	面積 町	地況		林況				摘要	整理期	将来施業要畧		
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	林級				材積	
												尺、	尺、
			地質	地位				每町	總				
相ノ沢	32 a	5 9700	中 真根層	1	スギ		2-4	I					
〃	b	0 8200	深 全上	1	カシ 雜	密	21	III	65 00	53 30	全部造林シ得ル見込		
〃	c	4 7000	中 全上	1	カシ 雜		1	I			80%造林シ得見込		
〃	d	3 2000	急 全上	2	カシ 雜		1	I					
〃	e	11 7000	急 全上	2	未立木地						65%造林シ得ル見込		
〃	f	13 2800	中 全上	2	カシ 雜	中	26	III	50 00	664 00	第三期二造林ス		
〃	g	11 7600	中 全上	2	カシ 雜		3	I					
〃	h	2 2100	平坦地 洪積層	1	苗圃								
	計	51 4300 2 2100 53 6400	…除地										
牛蒡沢	33 a	6 6700	中 真根層	1	スギ		1	I			80%造林シ得ル見込		
〃	b	1 7000	中 全上	2	未立木地								
東之沢	c	6 7700	中 全上	2	カシ 雜	中	20	II	32 00	216 64			
〃	d	11 2900	急 真根, 白岩層	2	カシ 雜	中	21	III	32 00	361 28			
〃	e	16 0000	急 清澄, 白岩層	2	カシ 雜	中	22	III	33 00	528 00	第一期二下流6'00造林 (70%見込)		
〃	f	7 8800	急 全上	2	未立木地						70%造林シ得		
〃	g	5 4600	中 全上	2	スギ ヒノキ		1	I					
	計	55 7700											

字	林小班	面積町	地況		林況			積		概要	整理期	將來施業要畧		
			傾斜	深淺	地位	樹種	粗密度	林齡	林級				材	總
仲ノ沢	34 a	27 9300	急	淺	2	カシ	密	18	II	30 00	837 90	第二期下流ヲ造林ス		
	〃 b	2 8700	急	淺	3	カシ	〃	30	III	45 00	129 15	第四期ニ造林ス		
	〃 c	8 0000	急	淺	3	カシ	〃	24	III	40 00	320 00			
	計	38 8000	急	中								折木沢特賣箇所		
春稻沢	35 a	1 0300	急	中	2	赤松	中	38	II	600 00	618 00			
	乘ノ木沢	27 9000	急	中	2	カシ	〃	6	I			上木存在ス毎町歩190尺メ		
	春稻沢	4 1500	中	淺	2	スギ	〃	4	I					
	計	33 0800	急	淺								折木沢特賣箇所		
安野	36 a	12 7200	緩	深	2	スギ	〃	3-4	I			川ニ接スル所斷崖絶壁		
	鳥居澤	41 7400	急	淺	3	カシ	〃	4	I			上木存在ス毎町歩190尺メ		
	〃 c	2 8700	急	淺	2	スギ	〃	3	I					
	計	57 3300	急	淺								折木澤特賣箇所		
春場沢	37 a	5 5000	急	中	2	カシ	〃	1	I			上木存在ス毎町歩350尺メ		
	〃 b	5 9600	中	中	2	カシ	〃	1	I			上木存在ス毎町歩 300尺メ (總1778〃,60)		
	〃 c	10 1000	中	中	2	未立木地	〃					上木伐採中		
	計	3 6400	急	中	2	カシ	中	22	III	36 00	131 04	上木存在ス毎町 390尺メ (總1419〃,60)		
袖ノ木沢	38 d	7 5600	緩	中	1	カシ	〃	22	III	35 00	264 60	上木存在ス毎町 150尺メ (總1134,00)		
	〃 e	28 8500	急	中	2	カシ	密	22	III	45 00	129 25	上木存在ス毎町 400尺メ (總11540,00)		
	〃 f	4 7200	急	淺	2	カシ	疎	22	III	55 00	259 60	上木伐生ス		
	計	66 3300	急	淺								折木澤特賣箇所		

字	林小班	面積 町	地況		林況				摘要	整理期	将来施業要畧	
			傾斜	深淺	樹種	粗密度	林齡	材積				
								地質				地位
西ノ沢	38 a	2 3500	急 真根層	中	スギ		I		V ¹⁹⁴⁷	60%造林シ得		
〃	b	3 2900	急 空	中 上	未立木地		I					
〃	c	15 8500	急 真根、白岩層	中	カシ 雜		I	160尺メ				
〃	d	7 5400	急 真根、白岩、真根層	中	カシ 雜	疎	II	380尺メ	カシ少シ			
〃	e	4 7900	急 白岩、中 空	中 上	赤松	〃	II					
〃	f	12 2300	中 清澄層	中	カシ 雜		I	上木ナシ				
	計	46 0500						折木澤特賣箇所				

奥山施業區
整理案
明治三十八年八月調

(37)

整理期一覽			今後ノ年数
第一期	明治 自三八 至四二	五ヶ年間	1-5
第二期	自四三 至五二	十ヶ年間	6-15
第三期	自五三 至六二	十ヶ年間	16-25
第四期	自六三 至八七	二十五ヶ年間	26-50

備考 清澄施業區ノ備考参照スルヲ要ス

(38)

第一期 明治三九-四三年ニ至ル五年間

林班 小班	整理地		造林地		造林シ得ヘキ		収 額		備 考
	面 積	町	面 積	町	面 積	% 町	豫 定		
3 b			4 73		80	3 78			伐採跡地 三十八年度伐採（下木）
d	9 96		9 96		70	6 97	1,693 20 尺ノ 348 60 棚		
4 a	27 10		10 00		50	5 00	1,700 00 尺ノ 704 60 棚		沢ノ南部ヲ造林全時ニ耕地ニ接セル部分 整理三十八年度伐採（下木）
6 a	30 00		15 00		70	1 05	3,150 00 尺ノ 660 00 棚		
9 a	4 50						292 50 棚		林班七ニ接セル部分ヲ造林ス
b			7 70		65	5 01			
20 a	17 61		8 61		90	7 75	5,166 00 尺ノ 264 15 棚		三十八年度伐採 未立木地ナリ
b	14 77		7 00		80	5 60	4,200 00 尺ノ 221 55 棚		
c	9 07		9 07		60	5 44	4,081 50 尺ノ 136 05 棚		下流造林
26 d			12 70		80	9 16			
27 b			14 20		75	10 65			上流造林
									上木伐採中 全上
11 a	8 34		8 34		90	7 51	542 10 棚		以上黄和田畑特賣箇所 上木点生ス、下木ハ三十八年度伐採
c	10 50						472 50 ヶ		
e			7 10		75	5 33			伐採跡地 澤ノ東部造林
12 a	24 34		14 34		85	12 19	2,581 20 尺ノ 1,290 02 棚		
14 a			15 00		80	12 00	1,500 00 尺ノ		上流造林
b	26 24		12 00		70	8 40	960 00 尺ノ 1,102 08 棚		
15 a	6 43						244 34 棚		三十八年度伐採 上木点生
17 a	1 66						76 36 ヶ		
22 a	9 37						562 20 棚		以上四方木特賣箇所
d	12 65		12 65		85	10 75	5,566 00 尺ノ 632 50 棚		
30 f			0 78		100	0 78			
									未立木地

林班 小班	整理地		造林地		造林シ得ヘキ		収 額		備 考
	面 積	町	面 積	町	面 積	町	豫 定		
32 b	0	82	0	82	100	0	82	262 40 尺ノ 53 30 棚	未立木地
c			4	70	80	3	76	1,692 00 尺ノ	
e			11	70	65	7	60		
f	13	28						664 00 棚	
33 b			1	70	80	1	36		
e	16	00	6	00	70	4	20	1,800 00 尺ノ 528 00 棚	
f			7	88	70	5	52		未立木地
34 b	2	87						1,295 15 棚 1,788 00 尺ノ	
37 b			5	96	75	4	47		未立木地
c			10	10	75	7	58		未立木地
d	3	64	3	64	75	2	73	1,419 60 尺ノ 131 04 棚	三十八年度下木伐採
e	7	56	7	56	90	6	80	1,134 00 尺ノ 264 60 棚	三十八年度下木伐採
f	28	85	8	00	75	6	00	3,200 00 尺ノ 1,298 25 棚	東南部 g ニ接シ造林
g	4	72	4	72	75	3	54	259 60 棚	上木莫生
38 b			3	29	50	1	65		未立木地
									以上折木澤分
合計	290	28	245	25	平均 70.7	173	40		第二期以后ハ豫定造林地ノ約 70% 造林シ得ル見込 上木ノ収額ハ造林地面積ニ於ケル材 積ノミヲ記セリ然レトモ実行ノ際便宜全 整理地ノ上木ヲ伐採スルコトアルヘシ

第二期 明治四四-五三年ニ至ル十年間

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考
1 c	18 77	9 50		林班ノ東部即チ上流ヲ造林ス 沢ノ下流兩岸ヲ造林ス bト同時ニ整理ス 澤ノ南部造林 cト全時ニ造林 造林シ難シ 本林班ノ中央部ヲ造林ス 本林班ノ西部造林 成ルヘク造林ス 北部造林
2 b	38 72	25 00		
h	スギ 1 93	1 93		
3 f	10 20	10 20		
5 b	30 23	15 00		
c	15 24	15 24		
d	4 06	2 00		
e	0 58			
6 a	37 08	20 00		
7 b	31 33	14 00		
c	5 11	2 50		
9 d	7 44	7 44		
19 b	15 00	15 00		
21 a	17 26	17 26		
24 a	10 28	10 28		
26 a	4 40	4 40		
b	6 03	6 03		
10 a	4 82			以上黄和田畑特賣箇所
11 d	21 49	10 00		
13 a	8 81	8 81		
b	8 32			
e	2 95	2 95		
15 c	12 61	12 61		
d	2 52			

(41)

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考
16 c	10 10			以上四方木畑特賣箇所 澤ノ西造林 澤ノ西北部造林 下流造林
d	10 07	10 07		
e	8 95			
f	3 80	3 80		
g	6 86			
h	7 48	7 48		
17 b	8 95			
c	6 59	6 59		
d	8 27	8 27		
22 b	6 32	6 32		
c	14 32			
23 a	17 33			
b	14 75	14 75		
28 a	8 24	8 24		
b	40 37	15 00		
29 a	18 33			
b	1 77	1 77		
d	39 10	15 00		
30 c	13 51	13 51		
33 c	6 77	6 77		
d	11 29			
34 c	8 00	8 00		
a	27 93	12 00		

(42)

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考
38 d e	7 54 マツ 4 79	7 54 4 79		
				以上折木澤特賣箇所
合計	雑 643 92 スギ 1 93 マツ 4 79 計 650 64	391 18		

(43)

第三期 明治五四-六三年ニ至ル十年間

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考
3 c e	18 66 4 96	9 66		東部造林
5 a	11 38	11 38		
8 b d	6 52 1 40	6 52		造林シ得ル部分少シ 造林シ難シ
9 a c	4 50 9 66	4 50 9 66		
18 a d c	スギ 2 27 31 97 スギ 1 28	2 27 12 00 1 28		七里川ニ接セル部分造林
19 b	37 65	22 65		中央部造林
20 a b	9 00 7 77	9 00 7 77		
21 b	31 72	16 00		上流造林此分折木沢特賣箇所
24 b d e	15 11 17 73 8 07	15 11 17 73		
25 b	23 71	13 71		
26 e	18 36	18 36		
27 a d	20 40 2 40			造林シ難シ
				以上黄和田 特賣箇所 但シ31.72 折木澤ノ分

(44)

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考
10 a	11 43	11 43		aニ接シテ造林ス
b	5 34	5 34		
11 f	7 03	7 03		
g	2 72			
h	5 81			
12 a	10 00	10 00		
b	1 33	1 33		
c	21 95	10 00		
d	14 62			
13 d	12 41			
14 a	4 10	4 10		
15 a	6 43	6 43		
b	10 32			
16 a	1 50	1 50		
b	13 89	6 00		
22 a	9 37	9 37		
30 a	6 31	6 31		dニ接セル部分造林
b	1 77	1 77		
d	14 36			
31 c	18 87	10 00		
d	10 33	10 33		
32 d	3 20	3 20		
f	13 28	13 28		
g	11 76	11 76		

(45)

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考
33 e	10 00	10 00		西部造林 下流造林
35 a	1 03	1 03		
b	27 90	10 00		
36 b	41 74	21 74		
37 a	5 50	5 50		
f	20 85	20 85		
38 c	15 85			
f	12 23	12 23		以上折木澤特賣箇所
合計	雑 597 81 スギ 3 55 マツ 1 03 計 602 39	383 17		

(46)

第四期 明治六四—八八年ニ至ル二十五年間

林班 小班	整理地		造林地		収 額		備 考
	面 積	町	面 積	町	豫 定		
1 a	スギ	1 96	1 96				七里川ニ沿フ部分ヲ造林ス但a,b,dニ介在スル部分ハ残ス bト全時ニ造林ス aニ接シ上流ヲ造林ス 終期ニ造林 全 澤ノ北部造林 全 全 林班5及10ニ接セル部分造林 終期ニ造林ス 南部造林 下流造林 此分折木沢特賣箇所 以上黄和田 特賣箇所 但シ15,72 折木澤ノ分
b	スギ	6 94	6 94				
c		9 27	9 27				
d	スギ	0 88	0 88				
2 a		11 00	11 00				
b		19 72	13 72				
3 c		9 00	9 00				
e		4 96	4 96				
4 a		17 10	17 10				
b		11 71	5 00				
5 b		15 23	15 23				
6 a		32 08	32 08				
7 b		17 33	17 33				
18 d		19 97	19 97				
19 b		15 00	15 00				
21 b		15 72	15 72				
24 e		8 07	8 07				
25 b		10 00	10 00				
27 a		20 40	20 40				

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考	
10 f	4 82	4 82			
11 c	10 50	10 50			
d	11 49	11 49			
g	2 72	2 72			
h	5 81	5 81			
12 d	14 62	14 62			
c	11 95	11 95			
13 b	8 32	8 32			
d	12 41	12 41			
14 b	14 24	14 24			
15 b	10 32	10 32			
d	2 52	2 52			
e	0 68	0 68			
16 b	7 89	7 89			
c	10 10	10 10			
e	8 95	8 95			
g	6 86	6 86			
17 a	1 66	1 66			
b	8 95	8 95			
					以上四方木 特賣箇所

(48)

林班 小班	整理地 面積 町	造林地 面積 町	収 額 豫 定	備 考
22 c	14 32	14 32		
23 a	17 33	17 33		
28 b	25 37	25 37		
29 a	18 33	18 33		
d	24 10	24 10		
30 d	14 36	14 36		
31 c	8 87	8 87		
33 d	11 29	11 29		
34 a	15 93	15 93		
b	2 87	2 87		
35 b	17 90	17 90		
36 b	20 00	20 00		
38 c	15 85	15 85		
合計	雑 569 71 スギ 10 46 計 580 17	577 90		

(49)

奥山整理地總括表

特賣区	整理期	整理地 面積 町		造林地 面積 町		収 額 豫 定		平均一ヶ年		備 考			
								雑木伐採箇所 町	造林箇所 町				
黄 和 田	I 雑	113	01	98	97			22	60	19	79		
	II { 雑 スギ 小計	251	73	175	78			25	17	17	58		
		1	93										
		253	66										
III { 雑 折 スギ 小計	249	25	177	60			24	93	17	76	此内8d,1,4ハ四方木ナレトモ小 面積ニ付キ此ニ計上セリ 折木澤ノ特賣分		
	31	72											
	3	55											
284	52												
IV { 雑 折 スギ 小計	220	84	233	63			8	83	9	35	折木澤ノ特賣分		
	15	72											
	9	78											
246	34												
四 方 木	I 雑	77	51	56	78			15	50	11	36		
	II 雑	132	59	70	58			13	26	7	06		
	III 雑	128	88	63	16			12	89	6	32		
	IV { 雑 スギ 小計	154	13	154	81			6	17	6	19		
0		68											
154		81											

特賣区	整理期	整理地 面積 町		造林地 面積 町		収 額 豫 定		平均一ヶ年				備 考
								雑木伐採箇所 町		造林箇所 町		
折 木 澤	I 雑	99	76	89	50			19	95	17	90	
	II { 雑 マツ 小計	235 4 240	57 79 36	113	69			23	56	11	37	
	III { 雑 マツ 外二雑 小計	223 1 31 256	32 03 72 07	147	37			22 外二 3 25	33 17 50	14	74	
	IV { 雑 外二雑 小計	206 15 222	52 72 24	206	52			8 外二 0 8	26 63 89	8	26	
總 括	I 雑	290	28	245	25			58	06	49	05	実際造林地 <small>173.40平均 一ヶ年34.68</small>
	III { 雑 スギ マツ 小計	619 1 4 626	89 93 79 61	360	05			61	99	36	01	
	III { 雑 スギ マツ 小計	601 3 1 606	45 55 03 03	388	13			60	15	38	81	
	IV { 雑 スギ 小計	581 10 591	49 46 95	594	96			23	26	23	80	
	計	2,114	87	1,588	39							

明治三十一年度ヨリ三十七年度ニ至ル
演習林収入支出明細表
明治三十八年八月調

(52)

演習林収入及ヒ支出總括

収入ノ部

年度	千葉縣		北海道		臺灣		府中并代々木		合計	
31	6,821	173							6,821	173
32	7,217	187							7,217	187
33	10,535	590	66	378					10,601	968
34	8,867	274	29	054					8,896	328
35	9,353	414	40	038			72	775	9,466	227
36	7,551	945	1,502	918			84	085	9,138	948
37	9,505	254	0	173	711	260	64	160	10,280	847
合計	59,851	837	1,638	561	711	260	221	020	62,422	678

支出ノ部

年度	千葉縣		北海道		臺灣		本部		合計	
31									6,818	163
32	5,870	102					1,230	466	7,100	568
33	6,665	718	1,317	905			2,297	854	10,281	477
34	6,605	530	597	460			1,563	461	8,766	451
35	7,578	247	515	500			1,114	301	9,208	048
36	7,451	845	600	699	37	500	1,011	417	9,101	461
37	7,536	880	537	688	13	000	1,371	820	9,459	388
合計	41,708	322	3,569	252	50	500	8,589	319	60,735	556

差引(資金編入)

三一年度	三二年度	三三年度	三四年度	三五年度	三六年度	三七年度	合計
3 010	116 619	320 491	129 877	258 179	37 487	821 459	1,686 122

(53)

千葉縣演習林 収入内譯

	三十一年度			三十二年度			三十三年度			
	材積 尺 ³	價格 円	平均單價 円	材積 尺 ³	價格 円	平均單價 円	材積 尺 ³	價格 円	平均單價 円	
立木	松	4,071.6	749,816	0.184	315.0	139,875	0.444	3,603.4	774,466	0.215
	杉	450.0	410,500	0.912	889.5	773,211	0.869	687.0	780,822	1.137
	縦	2,313.4	542,404	0.234	7,106.9	1,712,804	0.241	9,089.6	2,294,914	0.252
	母	3,899.1	611,150	0.157	2,451.9	343,805	0.140	3,784.8	540,932	0.143
	樫	526.6	115,860	0.220	338.0	91,817	0.272	622.1	148,883	0.239
雑生木	扁柏	0	0	0	0	0	0	4.5	0.720	0.160
	雑生木	3,220 ^冊 .6	3736,297	1.160	3,277 ^冊 .9	4,068,263	1.241	3,760.4	5,494,180	1.461
損木	松				51 ^{尺³} .8	11,982	0.231	63.0	10,577	0.168
	杉				10.8	3,280	0.303	210.8	80,058	0.380
	縦				170.0	29,995	0.176	309.6	59,392	0.192
	母	981 ^{尺³} .7	153,531	0.156	15.7	1,460	0.93	3.2	0.320	0.100
	樫				3.5	0.630	0.180	0	0	0
花柏*				1.5	1,500	1,000	1.0	0.300	0.300	0.300
切断木	松				24.0	0.360	0.015	8.0	1,000	0.125
	杉				0	0	0	19.0	11,985	0.631
	縦	76.2	18,960	0.249	150.3	23,150	0.154	58.3	17,898	0.307
	母				4.6	0.410	0.089	0	0	0
	樫				18.0	3,000	0.166	2.4	0.960	0.400
官行造材	杉板	0	0	0	0	0	0		167,450	
	縦板	0	0	0	0	0	0		73,241	
	縦小角	0	0	0	0	0	0		7,500	
雑取		482,655			11,645			69,992		
合計		6,821,173			7,217,187			10,535,590		

*サワラ

千葉縣演習林収入内訳

		三十四年度					三十五年度		
		材積 尺 ³	價格 円	平均單價 円			材積 尺 ³	價格 円	平均單價 円
立 木	松	1,343 810	218 497	0 163	立 木	松	1,058 690	152 282	0 144
	杉	1,590 330	2,265 839	1 424		杉	991 650	1026 678	1 035
	樅	4,348 660	486 671	0 133		樅	4,031 870	615 511	0 153
	梅	556 980	49 307	0 089		梅	1,472 750	132 297	0 089
	榧	57 700	10 663	0 185		榧	191 670	35 701	0 134
	扁柏	0	0	0		花柏	19 800	10 000	0 505
	花柏	12 800	6 400	0 500		檜	21 500	43 000	2 000
雜生木	3,090 ^冊 500	3,705 300	1 199	雜生木	3,694 ^冊 482	5,139 170	1 120		
損 木	松	89 ^{尺³} 220	13 644	0 153	損 木	松	528 ^{尺³} 300	110 969	0 210
	杉	361 150	162 829	0 451		杉	1,142 950	773 897	0 677
	樅	200 290	54 730	0 273		樅	1,552 600	231 035	0 149
	梅	0	0	0		梅	102 600	6 580	0 064
	榧	0	0	0		榧	30 300	9 285	0 306
	花柏	0	0	0		花柏	169 340	65 825	0 388
切 断 木	松	255 000	20 750	0 081	切 断 木	扁柏	1 400	1 380	0 980
	杉	236 220	398 587	0 687		檜	12 000	25 200	2 100
	樅	526 000	69 720	0 133		松	310 200	22 045	0 071
	梅	0	0	0		杉	143 780	99 545	0 692
	榧	0	0	0		樅	530 400	51 385	0 097
官 行	杉板		341 903		製 材 製 炭	梅	456 000	26 500	0 058
	樅板		9 150			花柏	4 200	2 040	0 486
	樅小角		0			杉板		81 443	
	製炭	1892 ^俵	856 930	0 453		木炭	1,623	599 380	0 369
雜 収		196 354		雜 収		92 266			
計			8,867 274		計			9,353 414	

		三十六年度					三十七年度		
		材積 尺 ^ノ	價格 円	平均單價 円			材積 尺 ^ノ	價格 円	平均單價 円
立 木	松	547 400	87 833	0 160	立 木	松	2,282 500	285 550	0 124
	杉	816 200	1142 315	1 399		杉	1,642 920	1,608 290	0 975
	樅	4,639 900	809 365	0 174		樅	15,924 500	2,640 875	0 166
	榎	1,693 200	137 616	0 081		榎	4,649 900	275 345	0 059
	樺	173 800	44 315	0 255		樺	676 900	119 710	0 177
	花柏	3 000	1 250	0 417		扁柏	15 000	21 450	1 430
	檜	16 000	5 000	0 313		花柏	55 200	11 370	0 206
	雜生木	2729 ^冊 700	3,142 120	1 151		雜生木	2,403 ^冊 700	2,866 580	1 192
損 木	松	149 ^{尺^ノ} 330	17 320	0 116	損 木	松	67 ^{尺^ノ} 300	9 090	0 135
	杉	295 670	205 435	0 695		杉	183 300	105 400	0 576
	樅	793 190	102 329	0 129		樅	477 600	44 600	0 093
	榎	137 820	8 193	0 059		榎	42 000	2 800	0 067
	樺	16 010	3 083	0 193		樺	21 200	3 090	0 146
	花柏	36 000	10 299	0 286		花柏	8 600	1 510	1 760
	扁柏	0 540	0 216	0 400		松	77 600	5 200	0 067
	櫟	3 100	5 008	1 615		切 断 木	杉	48 000	30 400
切 断 木	松	210 800	16 680	0 079	樅	160 600	14 940	0 092	
	杉	40 600	25 180	0 620	榎	44 400	2 960	0 067	
	樅	261 700	17 500	0 067	花柏	13 200	7 260	0 550	
	榎	87 600	5 840	0 067	製 材 製 炭	杉板	14 245		
製 材 製 炭	杉貫		250 002		木炭	2,756 ^俵	1,032 515	0 382	
	木炭	2,841 ^俵	1201 279	0 423	雜 収		404 074		
雜 収		305 767		計		9,505 254			
計		7,551 945							

北海道演習林 収入内譯

	三十三年度			三十四年度			三十五年度		
	材積 尺メ	價格 円	平均單價 円	材積 尺メ	價格 円	平均單價 円	材積 尺メ	價格 円	平均單價 円
トド, エゾ松 ドロ立木 硬石	265 5	66 378	0 250	12 7 258 700	3 180 25 874	0 250 0 100	154 140 2000 ^甲	20 038 20 000	0 130 0 010
計		66 378			29 054			40 038	

(57)

	三十六年度			三十七年度					
	材積 尺メ	價格 円	平均單價 円	材積 尺メ	價格 円	平均單價 円			
白揚樹*	7,289 810	1,457 962	0 200						
トド, エゾ松	429 160	44 956	0 105	0 935	0 173	0 185			
計		1,502 918			0 173				

*ドロヤナギ

(58)

臺灣道演習林 収入内譯

	三十七年度								
	材 積	價 格	平均單價						
		円	円						
筍	140,000 ^斤 *****	210 000	0 002						
麻竹	4,000	200 000	0 050						
楠仔*	2,400	98 930	0 041						
黄藤	152 ^尺 200	12 000	0 079						
赤蘭**	12 ^尺 500	10 000	0 800						
梢楠	2 ^尺 000	2 800	1 400						
江南竹***	56,600 ^斤	84 900	0 002						
厚壳****	73 ^尺 900	81 290	1 100						
松柏	16 200	11 340	0 700						
計		711 260							

*タブノキ

**シマツゲモドキ

***モウソウチク

****タイワンチシャノキ

*****1斤=600グラム

(59)

府中并代々木演習林 収入内譯

	三十五年度			三十六年度			三十七年度		
	材 積 尺メ	價 格 円	平均單價 円	材 積 尺メ	價 格 円	平均單價 円	材 積 尺メ	價 格 円	平均單價 円
雜収		72 775			84 085			64 160	
計		72 775			84 085			64 160	

(60)

明治三十二年度支出内譯表

部局		本部	千葉縣	北海道	合計
教務器品費		283 570	210 838	0	494 408
雇員給		470 166	202 666	0	672 832
定夫給		0	221 760	0	221 760
通信運搬費		0	29 490	0	29 490
旅費		384 300	263 260	0	647 560
消耗品費	筆紙墨	7 360	92 030	0	99 390
	雜費	0	20 610	0	20 610
実験費	造林費	12 420	384 973	0	397 393
	雜費	21 450	31 010	0	52 460
備人料	事務	51 200	640 517	0	691 717
	測量	0	209 987	0	209 987
	道路	0	897 377	0	897 377
	造林	0	1,539 096	0	1,539 096
	試験木	0	263 100	0	263 100
	養魚	0	0	0	0
	演習	0	62 253	0	62 253
雜費		0	59 672	0	59 672
寄宿舍費		0	300 205	0	300 205
新營費		0	441 258	0	441 258
計		1,230 466	5,870 102	0	7,100 568

明治三十三年度支出内譯表

部局		本 部	千葉縣	北海道	計
費目					
教 務 器 品 費		383 584	14 800	163 200	561 584
雇 員 給		312 064	297 385	201 935	811 384
定 夫 給		0	357 690	66 500	424 190
通 信 運 搬 費		83 862	0	0	83 862
旅 費		747 050	319 400	133 920	1,200 370
消耗品費	筆紙墨	39 044	4 250	0	43 294
	雜 費	0	56 160	0	56 160
実 験 費	造林費	0	366 539	0	366 539
	雜 費	81 000	151 320	2 350	234 670
備 人 料	事 務	651 250	552 720	0	1,203 970
	測 量	0	321 222	0	321 222
	道 路		751 050		751 050
	造 林		2,250 025		2,250 025
	經 理		7 620		7 620
	試 驗 木		77 696		77 696
	林 産		534 534		534 534
	養 魚		273 755		273 755
	演 習		171 420		171 420
雜 費		53 732		53 732	
寄 宿 舍 費		104 400		104 400	
新 營 費				750 000	750 000
計		2,297 854	6,665 718	1,317 905	10,281 477

明治三十四年度支出内譯表

部局		本 部	千葉縣	北海道	計
費目					
教 務 器 品 費		143 260	0	0	143 260
雇 員 給		238 099	348 000	240 000	826 099
定 夫 給		0	377 670	56 040	433 710
通 信 運 搬 費		44 310	0	0	44 310
旅 費		553 590	519 500	93 100	1,166 190
消耗品費	筆紙墨	32 160	0	0	32 160
	雜 費	0	5 760	0	5 760
実 験 費	造林費	0	1 200	0	1 200
	雜 費	151 342	12 000	0	163 342
備 人 料	事 務	400 700	521 067	0	921 767
	測 量	0	750 910	0	750 910
	道 路	0	1,090 114	0	1,090 114
	造 林	0	1,768 763	0	1,768 763
	經 理	0	28 580	0	28 580
	養 魚	0	92 446	0	92 446
	演 習	0	168 595	0	168 595
	林 産	0	691 088	0	691 088
	試 験 木	0	200 837	199 500	400 337
雜 費	0	29 000	8 820	37 820	
新 營 費	0	0	750 000	750 000	
計		1,563 461	6,605 530	597 460	8,766 451

明治三十五年度支出内譯表

部局		本 部	千葉縣	北海道	計
教 務 器 品 費		14 811	81 080	9 000	104 891
雇 員 給		240 000	348 000	240 000	828 000
定 夫 給		0	261 080	182 500	443 580
通 信 運 搬 費		7 000	10 500	0	17 500
旅 費		341 260	394 740	84 000	820 000
消耗品費	筆紙墨	14 690	4 850	0	19 540
	雜 費	4 420	13 180	0	17 600
実 験 費	造林費	286 600	184 640	0	471 240
	雜 費	24 320	195 602	0	219 922
備 人 料	事 務	181 200	663 646	0	844 846
	測 量	0	544 946	0	544 946
	道 路	0	907 859	0	907 859
	造 林	0	2,376 456	0	2,376 456
	林 産	0	731 437	0	731 437
	養 魚	0	10 056	0	10 056
	演 習	0	197 185	0	197 185
	經 理	0	129 340	0	129 340
	試 験 木	0	126 075	0	126 075
雜 費	0	24 000	0	24 000	
寄 宿 舍 費	0	24 075	0	24 075	
新 營 費	0	349 500	0	349 500	
計		1,114 301	7,578 247	515 500	9,208 048

明治三十六年度支出内譯表

部局		本 部	千葉縣	北海道	臺 湾	計
教 務 器 品 費		15 100	50 785	7 200	0	523 085
雇 員 給		204 137	224 200	217 419	0	645 756
定 夫 給		0	128 080	183 000	0	311 080
通 信 運 搬 費		45 450	27 430	0	0	72 880
旅 費		252 730	436 240	95 180	37 500	821 650
消耗品費	筆紙墨	24 910	13 310	0	0	38 220
	雜 費	8 700	23 730	0	0	32 430
実 験 費	造林費	0	167 270	0	0	167 270
	雜 費	73 090	368 110	0	0	441 200
備 人 料	事 務	356 300	670 377	54 600	0	1,081 277
	測 量	0	575 947	0	0	575 947
	道 路	0	423 838	0	0	423 838
	造 林	0	2,502 639	0	0	2,502 639
	林 産	0	1,020 632	0	0	1,020 632
	経 理	0	70 988	0	0	70 988
	養 魚	0	8 615	0	0	8 615
	演 習	0	145 464	0	0	145 464
雜 費	31 000	93 100	43 300	0	167 400	
寄 宿 舎 費	0	0	0	0	0	
修 繕 費	0	51 090	0	0	51 090	
計		1,011 417	7,451 845	600 699	37 500	9,101 461

明治三十七年度支出内譯表

部局		本部	千葉縣	北海道	臺灣	計
教 務 器 品 費		133 490	231 490	12 000	13 000	389 980
雇 員 給		0	180 000	206 708	0	386 708
定 夫 給		0	236 790	182 500	0	419 290
通 信 運 搬 費		101 990	19 000	0	0	120 990
旅 費		386 870	308 870	98 560	0	794 300
消耗品費	筆紙墨	60 805	6 260	0	0	67 065
	雜 費	0	3 720	0	0	3 720
実 験 費	造林費	132 000	302 440	0	0	434 440
	雜 費	78 265	463 340	7 920	0	549 525
備 人 料	事 務	478 400	427 940	30 000	0	936 340
	測 量	0	219 680	0	0	219 680
	道 路	0	515 900	0	0	515 900
	造 林	0	2,181 300	0	0	2,181 300
	林 産	0	1,721 900	0	0	1,721 900
	氣 象	0	36 840	0	0	36 840
	養 魚	0	340 020	0	0	340 020
	演 習	0	164 720	0	0	164 720
雜 費	0	32 000	0	0	32 000	
寄 宿 舍 費	0	104 000	0	0	104 000	
新 營 費	0	40 670	0	0	40 670	
計		1,371 820	7,536 880	537 688	13 000	9,459 388